

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

タバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況と防除対策（技術情報第14号）
について（送付）

9月上旬のタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルスの保毒状況は、平年と比べてやや低いですが、屋外のコナジラミ類の誘殺数はやや多い傾向にあります。そのため、保毒虫数は平年並と推測されますので、トマト黄化葉巻病の発生には注意が必要です。生育初期に感染すると被害が大きいので、防除対策を徹底しましょう。

記

1 調査結果

- 1) 8月28日～9月5日に、冬春トマト栽培地域の屋外に設置したトマト苗トラップで捕獲したタバココナジラミからトマト黄化葉巻ウイルスの保毒虫は確認されず、平年比やや少であった（表1）。
- 2) 冬春トマト栽培地域の屋外に設置後回収したトマト苗トラップの発病株数は、玉名市が12株中1株、熊本市および八代市では発病を認めず平年比やや少の発生であった（表2）。
- 3) 苗トラップと同じ地点に設置した黄色粘着板によるコナジラミ類捕獲数は、9月上旬から下旬にかけて、熊本市および八代市で平年並、玉名市が平年比やや多の発生が認められた（図1）。

2 防除対策

- 1) ハウスの開口部（サイド、谷部など）には目合いは0.4mm以下の防虫ネットを設置する。その場合、高温対策に留意する。
- 2) ハウス内に黄色粘着トラップを設置し、コナジラミ類の早期発見に努める。
- 3) 育苗期後半もしくは定植時に粒剤を施用する。また、ハウス内のタバココナジラミによる二次伝染を防ぐため、薬剤防除を併せて行う。
（注意：農薬使用にあたっては、使用方法、使用時期、総使用回数等を厳守する。）
- 4) ハウス内の発病株は二次伝染源となる。見つけしだい直ちに抜き取り、施設外に持ち出し処分する。
- 5) ハウス周辺及び内部の雑草は、タバココナジラミの生息・増殖場所となる。栽培期間中は定期的に除草する。
- 6) 野良生えトマトは、重要な伝染源となるので除去する。

熊本県農業研究センター 生産環境研究所
病害虫研究室 予察指導係（病害虫防除所）
担当：荒木、児玉 TEL：096-248-6490

表1 冬春トマト栽培地域で採集したタバココナジラミのトマト黄化葉巻ウイルス保毒状況（9月）

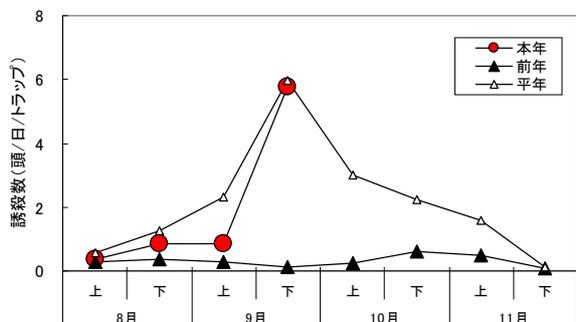
地点名	保毒虫率 (%)						平年値
	本年	平23	平22	平21	平20	平19	
熊本市	0.0	0.0	4.8	0.0	-	5.0	2.4
玉名市	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.5
八代市	0.0	0.0	0.0	0.0	-	0.0	0.0

注) 採集時期は、9月上旬設置期間。検定数は、20~40頭。
平年値は平成19年から平成23年の5カ年の平均

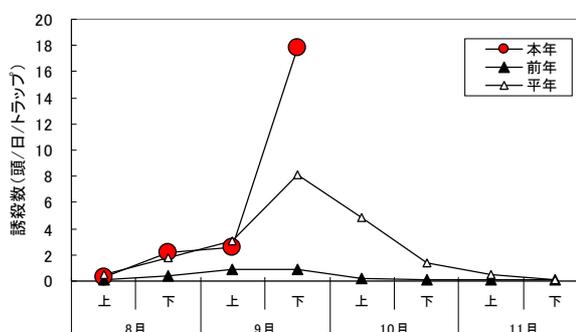
表2 冬春トマト栽培地域に設置したトマト苗のトマト黄化葉巻病発病状況（9月）

地点名	発病株数/供試株数						
	本年	平23	平22	平21	平18	平17	平年値
熊本市	0/11	6/12	3/12	0/12	-	1/12	2.5/12
玉名市	1/12	1/12	3/11	0/12	1/12	7/12	2.5/12
八代市	0/12	2/12	0/11	1/12	0/12	1/12	0.8/12

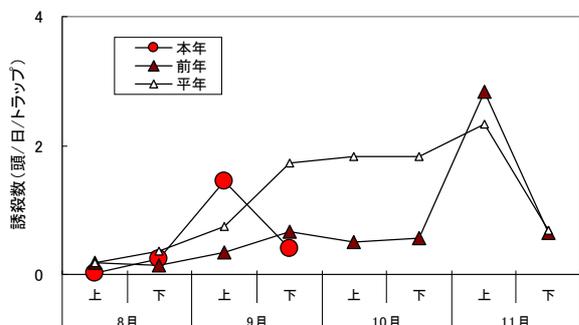
注) 設置期間は、8月末からの1週間 本年度は、8月29日~9月5日。回収後、隔離温室で1ヶ月栽培し発病の有無を確認。平年値は、平成23年~21年および平成18~17年の5カ年の平均



(熊本市)



(玉名市)



(八代市)

図1 平成24年度野外コナジラミ類の黄色粘着板による誘殺数（頭/日/トラップ）

注) 黄色粘着板（10×10cm）は、1地点当たり約5m間隔で3枚設置した。